

予算決算常任委員会全体会（令和 7 年度決算概要説明）

日頃から企業局の各事業の円滑な推進に格別のご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、令和 7 年度水道、下水道、ガス事業会計の決算概要について説明いたします。

令和 7 年度大津市公営企業会計決算書の 17 ページをお願いいたします。

まず、令和 7 年度水道事業会計の決算概要です。

令和 7 年度の水道事業は、湖都大津・新水道ビジョン・重点実行計画に基づき、浄水場の施設整備や老朽化した送・配水管の布設替えなどを推進しました。また、今後の水需要の減少に対応した水道システムの再構築に取り組んでおり、水道施設の更新改良及び運転維持管理を効率的かつ効果的に推進するため、令和 8 年度から令和 17 年度までの 10 年間にわたる「真野浄水場更新改良及び水道施設運転維持管理事業」の契約を締結しました。さらに、重点支援地方交付金を活用した水道料金の減免を実施しました。

経営面では、昨年度に比して給水収益が減少した一方で、減価償却費や資産減耗費が増加したことなどにより、純利益は減少し、

4億5,400万円となりました。

給水戸数は増加しているものの、一戸あたりの有収水量は減少する傾向となっています。また、浄水場など大規模な施設整備や更新等による費用の増加が見込まれ、厳しい経営状況が続くものと予測されます。

このような中、次世代に健全な施設を引き継ぐために、より一層効率的な事業推進に取り組み、水道事業者の使命である安全で安定した水道水の供給に努めてまいります。

決算書の69ページをお願いいたします。

次に、令和7年度下水道事業会計の決算概要です。

令和7年度の下水道事業は、生活環境の改善や安全性の向上、水環境の保全などの直面する諸課題に対応するほか、下水道施設の維持管理及び改築更新を効率的に推進するべく、大津市下水道事業中長期経営計画に基づき、管渠整備や施設の改築更新、地震対策などに取り組みました。また、終末処理場については、再構築事業に取り組んでおり、本年度は新1系水処理施設の建設を進めています。

経営面では、使用料収入の減少や施設の維持管理経費の増加などにより、純利益は前年度より減少し、16億2,900万円となりました。

下水道事業においても、終末処理場の再構築事業や施設の老朽化対策・地震対策などの資金需要は高まることが見込まれます。

このような中、更なるお客様サービスの向上や経営の効率化を図るとともに、生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全の役割を果たすよう努めてまいります。

決算書の119ページをお願いいたします。

最後に、令和7年度ガス事業会計の決算概要です。

令和7年度のガス事業は、大津市ガス事業中長期経営計画に基づき、ガス導管網の整備や供給申請に伴う導管整備などの整備事業に加え、経年管布設替等の改良事業、需要家設備の安全点検などの保安対策に取り組みました。

経営面では、土地・建物の売却に伴う固定資産売却益の計上などにより総収益が増加した一方で、維持管理経費や固定資産除却費など営業費用をはじめ総費用も増加したことから、純利益は前年度より減少し、2億3,300万円となりました。

このような中、今後も効率的な業務執行と経費の節減を図りながら、計画的な導管整備や災害対策に加え、大津市ガス特定運営事業等に係るモニタリングに引き続き取り組み、安全、安心で安定したガスの供給に努めてまいります。

令和7年度は、3事業とも純利益を計上することができましたが、昨今の物価高騰により、施設の改築更新や老朽化対策などの建設コストの高騰や、維持管理経費の増加が見込まれます。

今後ますます厳しい経営状況になるものと予測されますが、これからも、お客様サービスの向上と健全経営の維持に努めてまいります。

以上をもちまして、所管する議案の総括説明といたします。